

角膜ヘルペス



角膜ヘルペスとは？

角膜が単純ヘルペスウイルスに感染し、またそれに対する免疫反応によって起こる病気です。



原因は？

単純ヘルペスウイルスは、知らない間に感染していることが多く、70～80代のほとんどの人では、体のどこかの神経節に潜んでいます。眼球の場合、角膜の知覚を司る三叉神経節に潜んでいるこのウイルスがストレス・外傷・風邪・疲労などがきっかけとなり、角膜の表面に出てくることによって発症。

角膜ヘルペスは、2種類に分けられます。

①上皮型：

ウイルスが角膜表面の上皮で増え、特徴的な枝分かれした樹枝状の角膜病変(樹枝状角膜炎)を呈します。

②実質型：

角膜の実質でウイルスに対する免疫反応が生じて、円板状の局所性の角膜浮腫および混濁(円板状角膜炎)を認めます。



症状は？

- ①**上皮型**：「ゴロゴロする」「まぶしい」「涙が出る」「目が痛い」「目が赤い」などを訴えますが、視力の低下は軽度です。
- ②**実質型**：充血と共にかすみを訴え、視力がかなり低下します。通常は片眼性で、再発を起こすのが特徴です。



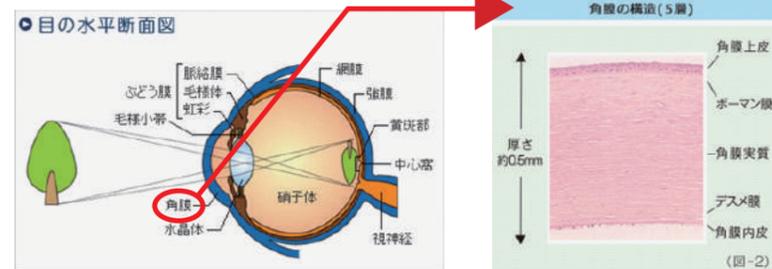
治療は？

単純ヘルペスウイルスに対する特効薬としてアシクロビル（ゾビラックス）眼軟膏を投与します。

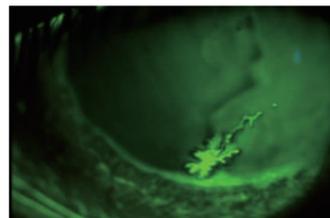
実質型の場合、免疫反応を抑えないと混濁が改善しないので、副腎皮質ステロイドの点眼薬を併用します。**上皮型**の場合、副腎皮質ステロイドは、一般的に禁忌です。

最後に

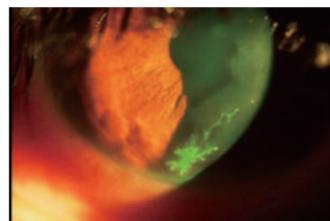
角膜ヘルペスは、一度良くなっても三叉神経節にウイルスが残っており、これがしばらくしてまた角膜に出て来て、再発を起こすのが大きな特徴です。上皮型の再発を繰り返すと、実質型に移行し、角膜の混濁による視力低下などが生じ重症化する場合があります。経過が思わしくない場合には、早めに眼科を受診することが大切です。



上皮型(フルオロレsein染色)



上皮型



院長ごあいさつ

5月の連休を利用して今シーズン初のお遍路さんのため高知へ。朝の5時に目が覚め、7時30分のバスに乗り室戸岬へ向けて出発です。のっけから灯台までの凄い登り坂(驚)。その後、ひたすらフラットな道を黙々と歩きます。

昼食は室戸名物の「金目丼」で、これがまためっちゃ美味しい！！金目鯛の刺身と煮付けの丼で、最後は出汁でお茶づけ。ワン丼で三度美味しいのだ。朝の9時から室戸岬をスタートし、道の駅キラメッセ室戸にゴールしたのが午後3時半過ぎ。僕の万歩計では、29000歩、24km、高低差338m、消費カロリー820kcal。普段3000歩しか歩かないから、さすがにへろへろです。



院長 梶川大介

翌日は、チャリンコお遍路さんでの参拝。ホテルでレンタサイクルをしたのですが、家内は変速ギア付きで、私のは何と普通のママチャリ！！マジか？！キツイ坂道は、押し歩き(汗)。。。チャリンコで走っていると「こんにちは」「気をつけて」など笑顔で挨拶をしてくださる。外国の方とも日本語混じりの英語でお話しをさせて貰ったり。お接待でジュースとプリンタンの差し入れを頂いたり、二度、三度とお会い出来た方も。素敵な出会いに感謝、感謝です。今回、8ヶ寺を参拝させて頂きました。8つの煩惱が消えたはず！！

平成30年4月30日現在、52/88ヶ寺。夫婦揃って半端ない全身筋肉痛でした(苦笑)。



コラム数珠つなぎ



今回は、受付・木崎がお届けします！

先日、娘と韓国を訪れグルメにショッピングそして観光を満喫してきました。何度か訪れている韓国ですが本当に楽しいです。グルメやショッピングはもちろん刺激的で大好きですが私と娘は古宮などの場所をゆっくりと散歩することも楽しみの一つになっています。ソウルは風水都市として有名で良い気が流れている場所が沢山あります。その場所を訪れると不思議と心がスーと癒され落ち着くことができます。とても優しい風が吹き私たちを包んでくれます。そのおかげで韓国では娘と喧嘩をすることなくいつも過ごす事ができます。ぜひ、韓国を訪れた時はショッピングの合間にそんな場所も訪れ良い気を感じてみてください。きっと優しい風が吹いてくれるはず。私の大好きな場所は景福宮、娘は青溪川がお気に入りです。





ディズニープロジェクト全体研修

診療助手:奈良

毎月、人材育成コンサルタントのSさんのユーモア溢れるトークで（実際は、凄い経歴の持ち主の方）私達らしい医院作りについて話し合っています。

例えば、当院にお越し下さった患者様が満足してお帰り頂く為には、私達がどのような対応に心がければ良いのか？『梶川眼科が休診だと、不安で仕方ない。』『この先、何年も梶川眼科に通院したい。』と、思ってもらえるファンの方を増やす為に、私達は様々な知識や技術を身に付け、少しでも患者様に寄り添える為にするべき事は何か？などを、1年をかけて話し合っています。

又、スタッフ間でのチーム作り。仲間同士の意識作りとして、食事会を通して各部署を超えた親睦により、日頃顔を合わす機会のないメンバーが、お喋りしたり笑ったりする事で、とても貴重な時間を過ごす事が出来ます。チョットした創意工夫により、チームの絆が深まるきっかけを思案して行く予定です。

研修会の時、自分が言われて“エンジンのかかる言葉”を考えました。『頑張ってるね！』『一緒にいると楽しい！』『さすが！』など言われると、やる気のスイッチが入り、エンジン全開です。人前で発表する時は、とても緊張して嫌な気持ちが生じるので、ルールとして親指を立てながら『イイネ！！』と、全員が声かけをする事により、発表を否定されずにワクワクする気持ちになる事を学びました。

今回、一番盛り上がったのは心理テストでした。とても面白いテスト結果に、新たな自分の発見です。梶川のスタッフは、院長を含め『責任感の強い、誠実・忠実・面倒見が良い、世話好きで楽道家』なメンバーが多い様です。2泊3日のディズニーパーク研修を生かしながら、1年後に私達の意識がどのように変わっているか？成長出来ている自分に逢える事が、とても楽しみです。



マンションのような大きな船でした



受付:川野

ゴールデンウィークを利用して、3,000人の乗客と1,000人の船員を乗せた大型客船ボイジャー・オブ・ザ・シーズの旅に出かけました。

大きな船体が岸壁を離れていきます。

背景には、南国らしい青空が広がり、そしてあのマリーナベイ・サンズ・ホテルの姿が大きく目に飛び込んできました。ここはシンガポール国際港です。

今からペナン島とプーケット島に向け初めての外国船クルーズに出発です。

総トン数138,000ト、長さが310m、15デッキという船の大きさです。タイタニックの4倍です。メインレストランは吹き抜け3階建て、他にもレストランが8つ、屋外プールが3つ、船上サーフィンや船上ロッククライミング、そしてシアターやスケートリンクなど沢山の設備です。特に4層吹き抜けのプロムナードは122mもあり、多種多様な国の人々が集まる商店街のようでした。



今回の旅で特に心に残ったことは、船室のバルコニーから眺めたマラッカ海峡に沈む黄金色の夕日の素晴らしさです。それとプロのアイススケートショーを最前列で見ている時、突然手を引かれリンクに連れ出されショーに加わったことです。



シンガポールに戻り船旅は終わりましたが、その夜は憧れのマリーナベイ・サンズに宿泊しました。屋上にあるプールにも入り、プールの水がこぼれない理由がわかりましたよ。



今回も楽しく旅行ができたのも、院長をはじめスタッフの皆さんのおかげと感謝いたしております。ありがとうございました。